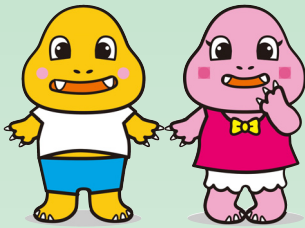




かつやま 3月定例会報告
2020.4.23

議会だより No.75



【おもな内容】

特集 当初予算	p 2
代表質問・一般質問Q & A		p 4
常任委員会報告	p11
特別委員会報告		
定例会結果報告	p13
かつやまピックアップ等		p14



残雪の越前甲



コチラから↑
議会中継動画は

特集

予算審査

新年度予算にみる
勝山市の動きを
チェック!



予算委員会では、令和元年度一般会計の3月補正予算案、令和2年度一般会計当初予算案を審査しました。令和2年度の当初予算は約116億8000万円で、前年度と比較して約1億6400万円の減額となりました。

また、令和元年度3月補正予算は約4億7800万円を追加し約126億2800万円となりました。

委員会では慎重な審査を行い、議会の同意を得たうえで執行するよう求めた案件もありました。主な議論は以下のとおりです。

特集 1 道の駅のスケジュールと予算について

道の駅の5月30日のオープニングに向け、スケジュールと費用を審査しました。まずプレイベントとして5月3～5日のゴールデンウィークには駐車場で「テント市」を開催。同じく26日に「落成式」、30日当日には「勝ち山おやき」のふるまいを行います。年間を通しては、親子体験として鮎釣りや、あまごつかみ取りがあり、地元農産物の恐竜マルシェや九頭龍川清流まつりも実施されます。その予算としてプレイベントはPR費用やテントの会場設営等で約307万円、年間費用としては約692万円が示されました。

委員からは、テントは購入せず既存のものを利用できないか、体験は鮎だけでいいのではとの意見が出ました。それに対して理事者からはテントは雨天の場合には既存よりも大きなものが必要である。また、鮎より安価のあまごも使いたいとの答弁がありました。

※新型コロナウイルスの影響で、上記イベントの開催について、市は9月末まで中止とする方針を示しました。



建設が進む道の駅

特集 2 消防緊急通信指令システムについて

システムの経年劣化のため、更新整備をするものです。議員からは、外国人や方言に対応できるのか、時間はどれくらい短縮できるのかの質問がありました。それに対して理事者からは、119番通報と同時に位置情報の把握、多言語・聴覚言語障害者対応、災害時電源供給及び近隣消防とのデータリンク等が行えるようになり、特に位置情報の入力の手作業であった部分が自動となることで時間短縮につながるとの答弁がありました。

生死に関わる救急の場での時間短縮は、市民により安心できる暮らしを提供できると期待されます。

特集 3 生活路線バス運行維持費及び子ども医療費支給費について

今予算に多く組み込まれた中で、生活路線バス運行維持費に、新しい支援として妊産婦を対象としたバス無料乗車券の交付と、制度の拡充として自動車運転免許証自主返納者への無料乗車区域を、これまでの対象路線よりも広げることが決まりました。これらは、妊産婦と自動車運転免許証自主返納者への日常生活交通の利便性の向上を目的にしています。

さらに、妊産婦を対象としたバス無料乗車券の交付と同様の子育て支援の拡充として、子ども医療費が市内の子育て中の保護者等を対象にし、その経費負担の軽減などを目的に、令和2年9月から現行の満15歳から満18歳までとなります。県の満15歳までの制度拡充にともない、勝山市は、さらにその一段階上の満18歳までの無料化の予算を決めました。子育て日本一を目指し、暮らしやすく、住みやすいまちづくりへ向けて、議会の議論と各担当部署・関係者の努力で一歩ずつ目標に向け前進しています。

特集 4 長尾山総合公園管理費について

増え続ける来園者の渋滞緩和対策として、バスの台数を増やしパーク＆ライドの拡充を実施します。

委員からは、来園者の多くは県立恐竜博物館が目的であることを考えると、勝山市だけではなく福井県とも協力して渋滞対策を行う必要があるのではないかという意見もありました。観光に偏重し、市民生活を疎かにすることがないように、適正な管理を求めました。



渋滞する国道416号

新型コロナウイルス感染症対策について

議会代表 下牧一郎 議員

問 新型コロナウイルス感染症対策について、その現状と対応など伺う。

答 本市では、2月28日に市長を本部長とする「勝山市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置した。

当市の新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応としては、市民に対し日常生活の注意点、奥越健康福祉センターへの相談目安などについて、市広報紙、市ホームページにより、周知を図っている。

また、公共施設にアルコール消毒液の設置と手洗い等の啓発チラシを掲示し、窓口職員のマスク着用、3月末までの市主催行事等の中止、延期、自粛などの判断を行った。

小学校の臨時休業による、日中留守家庭となる児童の居場所確保のため、市内の児童センターにおいて留守家庭児童の受入を実施している。

政府の臨時休業を要請する方針発表により、教育現場や子どもを持つ家

庭、医療等の現場においても様々な不安や課題が生じており、新型コロナウイルス感染症については、各地域において状況が異なることから、地域に応じた弾力的な対応が必要であると考え、児童生徒の健康・安全の確保に全力を挙げることが、国と一致協力して全力で取り組んでいく。

今回の臨時休業によって生じる保護者や関連事業者及び地方公共団体の様々な負担については、政府が責任を持って万全の対応をすることを強く求め、市民生活及び地域経済に甚大な影響が生じていることに対して、政府としてその実態を速やかに調査し、実効ある対策を講じることを併せて強く求めていく。

※市議会では、4月6日に市議会災害対策支援本部を設置し、市対策本部と連携を図り、新型コロナウイルス対策活動を支援していきます。

代表質問Q&A

○ 市政20年を振り返って

そのほかの質問
・新年度予算案について



下牧一郎議員
新風会・公明代表

問 京福電鉄が2度の事故により平成13年10月19日で廃止になった。その後、市民の粘り強い再開運動と市長の強い信念により、第三セクター方式で「えちぜん鉄道」として営業を再開し、平成15年10月19日には福井・勝山間での運転が再開したことで廃止からわずか2年での全線営業となった。

答 京福電鉄が運行停止していた2年4カ月の間、バスが代替運行していたが、冬期は時間が不明確なバスを、寒い吹雪の中停留所で待っている。バスが来ても満員の場合は乗車できず次のバスを待つ。高齢者にとってはわずか1時間の距離であっても、バスと電車では全然疲れ方が違う。不便だから福井に住もうかという人もいた。そのようなことが2年4カ月の間続き、バスの運行は予想を超える問題点があるということが露呈した。勝山市民にとって、電車は絶対に必要なものであるという強い信念がそのときに、様々なことを見聞きしながら決意をした。

代表質問Q&A

市政会代表
下道恵子
議員



○子育て支援について ○農業施策について

そのほかの質問

- ・令和2年度当初予算について
- ・観光施策について
- ・市のU・Iターン施策について

問 市の子育て支援は、福井勝山総合病院で妊婦検診を第一回から受け、県内の病院で出産すると1人10万円を支給するという「ここに妊婦奨励金」などがあり県内一を目指している。その上で「出産祝い金」として第1子目より全員に10万円を支援するのでもいいのではないかと思うが市の考えを伺う。

答 平成27年度に実施したアンケート調査結果に基づき、平成29年10月から第3子以降のお子さんに20万円を出生時に一括で交付することに見直した。今後も既存の制度の見直し等を図りながら、あらゆる子育て世代に対するより効果的な経済的支援策を考えていく。

問 「農業委員会」が農業従事者を対象に「農業経営に関する意識調査」のアンケートを取られたがその結果と課題を伺う。また「集落営農」を立ち上げる必要性、その「集落営農」を法人化したした場合のメリットとデメリットはどのようなものか、法人化する際にはどんな支援があるのか、そして今後どのような「勝山市農業」を目標としているのか伺う。

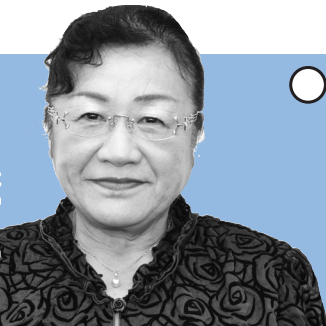
答 アンケート結果からは農業従事者の高齢化が顕著となっており、課題として後継者不足の実態が浮き彫りとなっている。集落営農は、農地、機械・施設、労働力を十分に活かす仕組みとして必要性が高まっており、法人化のメリットは、設備投資への積立ができることなどがあり、デメリットは事務作業の増加などがある。

法人化への支援については、その集落に一番適した農業がどのような形態なのか、地域の状況に合わせて将来に向けた話し合いが進むよう取り組む。また、国の農業経営法人化支援総合事業を活用して進めて行きたいと考えている。

今後の目標としては、勝山市の地理的条件の中で、持続可能な農業を進めて行けるよう努めていく。

代表質問Q&A

市民の会代表
富士根信子
議員



○中学校給食について

そのほかの質問

- ・中学校再編について
- ・認知症の方やご家族の方への支援について

問 市民の会では、市民の方から勝山の暮らしについてお話を聞く機会を設けている。中学校の学校給食について伺う。

○勝山市では、中学校給食が業者委託になった理由、経緯とその給食費の内訳。

○学校給食法や食育基本法・学校教育での食育実践を念頭に、中学校給食の取り組みが適切か。

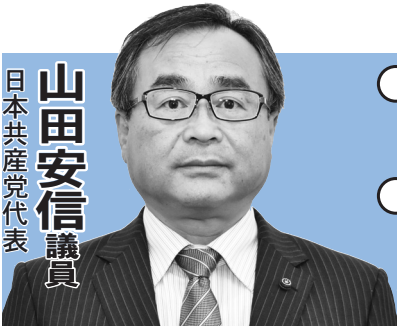
市民の会の見解は、食に対する楽しみ、喜びは味覚、視覚を通じて得られるものであり、その楽しさや喜びがあることで、食への正しい理解や判断が得られるものである。その楽しさと喜びが知育・徳育・体育の基礎になり、豊かな人間性を育み、中学校教育に貢献していくと考える。また、文部科学省のウェブサイトに、「成長期の子どもに対する食育は、子どもたちが一生にわたって健やかに生きていくことができよう、その基礎をつくるために行われるもの」と示されている。

今の中学校給食は楽しみや喜びを得られるものほど遠く感じる。以上

答 中学校の給食は、現在の3中学校体制となった昭和49年度には、すでに主食を持参し、副食を業者から納入する方式を採っていた。当時、市内に業者が2社あり、3中学校がそれぞれに委託していたが、平成14年度に業者が1社となったため、3中学校全校が同じ業者に委託することとなった。

基本的に人件費、光熱水費、施設設備費等は市負担とし、1食219円を実績に充じて支払っている。また、食材費等は保護者負担ということで、副食費等合計1食295円を毎月集金している。長年勝山市の中学生の給食を支える納入委託業者と栄養教諭や給食調理員により、学校給食が成り立っている。これから「感謝」する心を育てる「食育」のもと、安心・安全でおいしい給食を提供できるよう努力していく。

代表質問Q&A



山田安信 議員
日本共産党代表

○地球温暖化が勝山市の地域経済に深刻な打撃を与えている問題について ○観光の産業化とは独立採算が原則ではないのか

そのほかの質問

- ・格差を是正し効果的な行政運営をめざす勝山市職員制度の取り組みについて
- ・自治体連携で住みやすいまちづくりに取り組むことについて

問 雁が原は勝山市が知恵を使い、事業は民間資本を活用すべき。

答 雁が原スキー場については、運営を担っていた勝山観光施設株式会社から2月3日に破産手続き開始の申し立てが行われ、5日には福井地方裁判所において破産手続き開始が決定し、破産管財人による破産手続きが進められている。すでに新聞報道がされているが、2者の事業再生支援候補者からの申し入れがきていると聞いている。

民間資本活用など様々なご意見をいただいたが、駐車場を含む跡地の利活用は、破産管財人による

一連の手続きが行われているので、事業承継の方向性も含め、議会と協議していく。

問 道の駅隣接の産業団地は、民間のニーズに対応しつつ勝山市のリスクを最小限にすべき。

答 農家レストランの農地は民間契約で産業団地から除外した。ホテル事業も土地賃借が多く、産業団地だと不利になる。具体的な進出計画もないのに事前着工すべきではない。

道の駅隣接地の立地条件は、観光産業の展開には優れている場所であると考えている。隣接地帯を市が買収、整備することで、全体を有効活用したいと考えている。その中で、一社でも多くの企業が早期に進出を決定していただけるよう、現在、誘致を進めているホテル事業者以外にも観光施設を中心に誘致活動に全力で取り組みたいと考えている。

一般質問Q&A



安岡孝一 議員
新風会・公明

○人口減対策と女性活躍の視点について ○観光産業に向けての人材育成について

そのほかの質問

- ・災害発生を前提とした「マイ・タイムライン」の策定と「受援力」強化について
- ・「就職氷河期世代」の支援強化について
- ・鳥獣被害の削減について

問 2019年の人口移動報告は、東京圏の転入超過は24年連続で、このまま続けば地方は衰退する。注目するのは女性の動向で、一度転出した女性は地元に戻ることがなく、そのため男性や子育て世帯が積極的に移住することは考えにくい。そこで女性の方でU・ターンされて、勝山で活躍されている方に自身のU・ターン体験を女子中高生に語っていただくというのではいか。市の所見を伺う。

答 U・ターンされた女性の方と女子中高生の意見交換会については前向きに考えていく。

今後女性も自己の力を発揮できる機会を創出することで、ふるさと勝山でがんばれることを見つけたらという気概を持つ若者や女性の活動を積極的に支援していく。

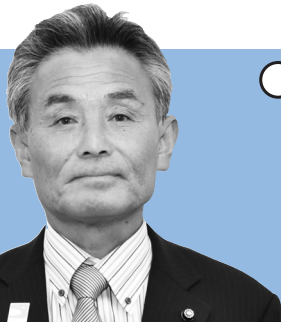
問 2019年の人口移動報告は、東京圏の転入超過は24年連続で、このまま続けば地方は衰退する。注目するのは女性の動向で、一度転出した女性は地元に戻ることがなく、そのため男性や子育て世帯が積極的に移住することは考えにくい。そこで女性の方でU・ターンされて、勝山で活躍されている方に自身のU・ターン体験を女子中高生に語っていただくというのではいか。市の所見を伺う。

答 荒土地区と荒土小学校の児童が一緒になって、炭焼き体験と炭を使ったフラワーアレンジメントを作成する取り組みを行っており、地域学習とともに後継者育成にもつながる取り組みとなっている。市としても、このような地域の特産品開発や小中学生をはじめ高校生、若者、女性の地域活動への参画について、引き続き支援していく。こうした取り組みを継続することで、地域特産品の売上げ及び収入増を図り、雇用創出や、後継者育成を支援したい。

問 当市には、地域の特色を活かした活動や農産物の販売事業を通し、地

○ 学校施設の長寿命化について

新風会・公明
吉田清隆
議員



そのほかの質問

- ・成人式について
- ・住民避難保険の加入について
- ・中学校の部活動について

問 全国の1738市区町村教育委員会を対象に「学校施設・設備整備の課題に関する調査」を実施し、540教委の学校施設・施設整備担当者が回答し、市区町村立学校の中長期的な整備計画を「策定した」と答えたのは、122自治体、415自治体は「策定していない」と回答した。

政府は2020年度までに各市区町村に対し、公共施設の長寿命化計画の策定を求めている。全国の公立小中学校は、一般的に改修が必要となる経年25年以上の建物が全体の7割を占めるなど老朽化が深刻化しており、政府・文科省は、早期に長寿命化計画を策定し、学校を地域で誇れる施設としてほしいと言っている。

答 勝山市の現状の学校施設の長寿命化計画の策定状況を伺う。

学校施設の長寿命化計画は、学校施設の整備内容や時期、費用を具体的に表す中長期的な計画であり、限られた財源や予算の平準化など、今後の学校施設整備を進める点でも非常に重要であることを認識している。

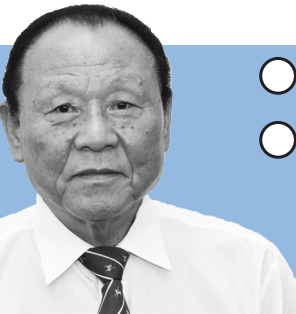
現在、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」と付属ソフトを活用して、施設情報の整理を行い、併せて都市建設課の建築技術職員との共働により、施設の改修履歴、劣化状況の現地調査に取り掛かっている。専門家の業務委託は行わないため、学校施設の劣化状況等を適切に把握するには多少時間を要するが、令和2年度中の計画策定完了を目指している。

今後は、施設の現状の把握と並行して、施設の維持更新の優先順位付けや改修内容、時期、費用等の整理などの計画策定に必要な課題を検討・整理し、できるだけ早い時期の計画策定に向けて、引き続き取り組んでいく。

○ 雁が原スキー場の今後について

○ 勝山市の不動産総価値の推移について

市民の会
高間清一
議員



問 雁が原スキー場の運営会社の破産手続き開始は、市民に大きな波紋を与えている。ファミリー層に親しまれ、スキー教室などに利用されてきた雁が原スキー場は必要だと、私は考える。そこで、仮定の話としてスキー場として残すだけでなく通年型の施設として雁が原スキー場を残すのであれば、債務の一部を負担し、土地・建物・動産などを勝山市に無償貸与すると申し出があったならば、市はどのように考えるのか。加えて、長尾山総合公園の位置づけを見直し、恐竜博物館・長尾山総合公園・雁が原スキー場を一体化する戦略をつくるべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 雪不足が常態化する中、市がスキー場を管理運営するのは課題が多く難しいと考える。

現在、破産管財人による一連の手続きが行われているので、事業承継の方向性も含め、改めて周

問 雁が原スキー場の運

辺を含む雁が原の利活用について、議会をはじめとする関係者と協議していく。

答 過去の固定資産税の現年分調定額ベースの推移は、平成元年度は12億2317万円、平成2年度から毎年上昇し、平成14年度の18億1543万円をピークにその後減少となり、平成30年度は11億9198万円となっている。

個別の推移では、土地は緩やかに減額傾向にあり、家屋は評価替えの年に大きく落ち込んでいる。償却資産は、企業の設備投資等の影響を受けることから景気に左右される面があり、近年は増額傾向であったが、平成30年度は減少している。

○市内宿泊施設について

そのほかの質問
・若者のイベント開催について

新風会・公明
松本聖司郎
議員



問 勝山市内の宿泊施設の年間利用者数と来訪者数にかなりの差があると思うが、駅からの距離も遠い施設が多く、駐車場も少ない宿が目立ち、都会から来た観光客は駅に着いて驚く方も多い。今後、県は140万人の来訪者を見込んでいる。宿泊施設の見直しと改善について市の見解を伺う。

答 市内宿泊者数の8割は、ホテルハーヴェストと勝山ニューホテルの2箇所となっており、そのほかに定員が30名前後の小規模な宿泊施設などがある。勝山ニューホテルではネットでの情報発信や予約システム、WiFi整備などのサービス提供を行っているが、小規模な宿泊施設はネット環境等が整っていない状況である。市としては、小規模な宿泊施設への改修補助を行い、施設の魅力向上や受入環境の整備を図ることにより、宿泊者数の増加に繋げていきたいと考えている。

令和2年度予算において「おもてなし宿泊施設創出事業補助金」を計上しているが、この事業は福井県の補助事業「民宿リニューアル支援事業」を活用し、市内宿泊事業者に宿泊施設の改修補助を行うものである。

申請の際には、「勝山市おもてなし商業支援コーデイネーター」の指導により各宿泊施設の強み、弱みを確認した上で、中期事業計画を策定していただく。この計画に沿って改修を行うことにより、強みを伸ばし、サービス向上に努めていただくことを想定している。

各施設で状況は違いますが、SNSを活用した情報発信などターゲットを絞った戦略、例えばイスラム教徒への対応である「ムスリムフレンドリー」など新たな顧客の獲得につながる可能性がある。

おもてなしのサービス向上により宿泊者数の増加が図れると考えているので、旅館業組合などに周知していく。

一般質問Q&A

○SDGsの取り組みによるまちづくりについて
○日本遺産認定について

そのほかの質問
・稼ぐ観光戦略について
・中学校再編と勝山高校との関係について

新風会・公明
竹内和順
議員



問 日本は、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて取組んでいる。令和2年度当初予算案にもSDGsの観点を取り入れた第6次勝山市総合計画を策定するための事業費が盛り込まれている。勝山市のエコミュージアム構想としてジオパークによるまちづくりはまさしくSDGsそのものと考ええる。

SDGsを通じて、豊かで活力ある未来の勝山を創る構想を伺う。

答 今後策定する第6次勝山市総合計画には、SDGsの理念・枠組みをしっかりと盛り込み、市民と一体となってSDGsを推進するとともに地方創生の実現に向けて取り組む。

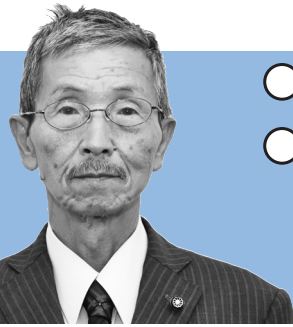
問 福井県と福井市、勝山市で共同提案した平泉寺と一乗谷を主要な構成資産とする日本遺産の提案が昨年5月20日に認定されたことは、記憶に新しい。

さて、日本遺産認定の市民の皆様の認知度はどれほどのものか。勝山市城下町内を横断する七里壁も日本遺産である。今後、これら勝山市の日本遺産とどのように向き合っていくのか所見を伺う。

答 認定1年目ということで、情報発信は必ずしも十分とは言えない面もあったが、今後、「福井・勝山日本遺産活用推進協議会」と連携を図りながら、より積極的な情報発信に努めたい。また、2月13日の「日本遺産の日」についても、効果的な内容を検討していきたい。

勝山市では、令和2年度から文化財保存活用地域計画の策定を2年間かけて行う予定で、市内の文化財を再確認し、保存と活用につなげていくとともに、「歴史まちづくり法」の活用の可能性についても、専門家の意見を聞きながら研究していく。

久保幸治議員
日本共産党



○ 国民健康保険税について
○ 学校教育について

そのほかの質問
・SDGsについて

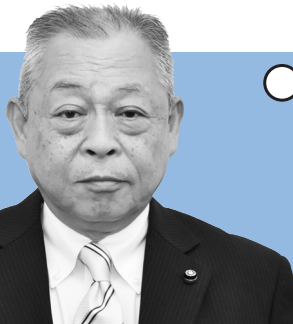
問 20年以上続くデフレで、上がらない賃金、下がる年金による生活困窮の声が多く、多くの加入者は高額保険税の引き下げを求めている。勝山市は値下げをする財源として国保の積立基金が約3億5千万円あり、これを使えば値下げはできる。「将来のためにとっておく」と担当者は言うが、今困っている加入者の声を聞き、早急に値下げをして加入者の生活を救う事が先である。全国でも自治体独自で均等割りの値下げ（減免）を始めており、当市でも子育て支援の一環として速やかに実施すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 今ある基金を活用しながら年度間における保険負担の平準化を図り、可能な限り加入者の負担緩和に努力したい。また、国民健康保険は市内の18歳未満の子ども達全てが加入している保険制度ではないことから、国民健康保険税の減免を市独自の子育て支援策の一つとして考えることは適当でないものと考えます。子ども均等割は、制度上の問題であると考えるので、国の責任において軽減制度の創設や財政的支援を講じることが望ましいと考えている。市としては、これまでと同様に市長会などを通じて要望していく。

問 様々な理由（いじめ・ゲーム依存・経済的事情など）で、学校に通えない子ども達の、避難場所としてのフリースペースが必要となっている状況の中で、各地で子ども食堂などが開設されている。市内に民間（ボラティア）などのフリースクールが創設・開設された場合、その運営についてハード面・ソフト面などにおいて支援する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

答 勝山市では、適応指導教室において不登校に対する支援を厚く行っているところであり、その上で、もし民間のフリースクールが開校されるなら、市としての対応について検討すべきと考えます。

近藤栄紀議員
市政会



○ 勝山市総合計画について

そのほかの質問
・勝山市地方創生総合戦略について
・職員の「働き方改革」の推進について

問 令和2年度当初予算に第6次総合計画策定事業費として592万5千円の予算が計上されている。策定にあたっては、市民や事業者、関係団体等の声を取り入れるとともに、進行状況の透明性を確保し、誰もが身近に感じられ、未来を具体的に想像でき共有ができる総合計画が望ましいが、今後のスケジュールも含め、市長の見解を伺う。

答 第5次勝山市総合計画が令和2年度で計画期間が終了するにあたり、持続可能な行政経営のもと、中長期的な視点に立つて総合的かつ計画的にまちづくりを進めるために、令和3年度を初年度とする第6次勝山市総合計画の策定準備を現在進めている。計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間の計画としており、基本構想を令和3年度から、基本計画を令和4年度からそれぞれ段階的にスタートする計画をしている。総合計画は、行政、市民、事業者および関係者が一体となって推進する最上位計画である。そのためにも、策定段階において地区別座談会や産業別・団体別座談会はもとより、特に、勝山市の未来を担う、学生を含めた若者、子育て世代など若い世代との対話を積極的に進め、いただいた声を計画に反映していく。人口減少、少子高齢化が急速に進む中、勝山市のあるべき未来の実現に向けて取り組んでいけるよう、すべての市民が共有できる計画内容にしていきたいと考えている。また、SDGsの達成目標を施策および指標に関連付けることで、市民、事業者、行政および関係者がそれぞれの立場で共通の目標を持ち、総合計画を推進できるような仕組みを構築していく。

○長尾山総合公園について

市議会
帰山寿憲議員



※Park-PFI 飲食店、売店等の施設設置と、その施設から生じる利益を活用して、周辺の園路等の整備改修を一体的に行う者を公募により選定する制度

問 長尾山総合公園の現在までの取り組みと今後の見込みについて説明を求めます。

答 長尾山総合公園の当初の整備計画は、平成8年に公園全域での基本構想を発表し、その後1期エリア内の工事に着手し、

県が建設する恐竜博物館や、市が設置する公園施設の整備を平成15年度まで行ってきた。その後、2期エリアではスポーツ施設などの整備を行うとしていたが、厳しい財政状況を鑑み、平成15年に2期事業の一時凍結を表明した。

その後、長尾山総合公園基本構想で2期エリア内に建設する計画であった新体育館は、利便性などを配慮し市街地で建設することとなり、2期エリアの活用は、都市計画マスタープランにおいて、自然公園の森として整備を進めていくこととした。1期エリアでは、開園当初は40万人の来園者を想定した施設整備を行ったが、平成25年度に初め

て年間入館者数が70万人を超えたことから、駐車場や施設整備が急務となり、恐竜博物館周辺の効果的な施設整備を、平成26年度に都市再生整備計画事業の計画変更を行い実施した。

一方、民間施設の設置については、平成26年に民設民営の遊戯施設を公募により選定すると共に、平成30年には観光交流センターに併設したジオスタミナルを誘致するなど、民間活力の導入を図ってきた。

今後の予定については、恐竜博物館機能強化の計画概要が定まったことから、建設場所や資材搬入路の検討、既存施設の代替計画などについて協議を重ね、来園者への支障が少なくなる提案をしていきたいと考える。また、Park-PFIなどによる民間活力の導入について、国土交通省所管の先導的官民連携支援事業の採択を目指し、公園全体を考慮した事業計画について検討していく。

○非常時から見える問題とこれからの課題

市民の会
中山光平議員



問 観光産業等、いわゆるインバウンドというものは、その性質上「外」の状況や需要に依存するものだと考える。

災害等で左右されるだけではなく、今回のようなウィルスの場合は人混みでの感染拡大等、その悪影響すらも取り込むという危険もはらんでいる。このような観光産業の脆弱性、問題点に対し、勝山市はどのように考え、対策していくのか。

私は一番に比重を置いて投資すべきは「内」、つまり市民に対して投資することが肝要だと認識している。例えば、子育てや教育、生活インフラ等、住んでいる者が住み続けたいと思えることが適当と考えるが、勝山市の認識を問う。

また、マスクの備蓄量等、勝山市としても頭を悩ませていると思われる。今後、のためにも全国規模の感染症に対する計画を立てるべきではないか。

ながら、当市が所管する施設への対応の徹底化を図り、観光地の感染対策に努めている。

令和5年には北陸新幹線福井開業、恐竜博物館の増改築による機能強化を控えているが、今回の新型コロナウイルスの流行で得る知見を活かし、不意に訪れる感染症の発生に対応できるように、県とも協議を続けていきたいと考えている。

インバウンドの持つ政治問題も含めた脆弱性を認識し、観光の産業化を進め、教育、福祉などの生活インフラの充実にも邁進していきたい。

全国規模の感染症に対する計画については、現在勝山市が持っている新型コロナウイルスエンザ対策の行動計画を準用して対応したいと考えている。国の法的な根拠は今回の新型コロナウイルス感染症に関して存在していないので、国では性急な法整備を進めている。それを見て勝山市でも必要な対応を取りたいと考えている。

常任委員会報告

総務文教厚生委員会

子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

今回の条例改正は、子ども医療費助成制度の助成対象者を拡大するものと説明がありました。医療費の助成対象者が、改正前は満15歳までとなっていました。改正後は満18歳までと変更になりました。子育て支援日本一を目指す勝山市の新たな施策の一つです。また、この条例は、令和2年9月1日から施行するものと説明がありました。

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案22件について全て可決し、陳情1件を採択としました。

児童センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

今回の条例改正では、児童センターの開館時間及び休館日を変更するものとの説明がありました。

改正前の開館時間は、小学校の学年始め、夏季、冬季及び学年末における休業の各期間並びに土曜日の午前8時から午後6時までとなっていました。改正後は、あらかじめ利用申し込みがある場合に、午前7時30分から開館できるものとする変更になりました。

委員からは、常時7時30分からの開館ではないのかと問われ、理事者からは申し込みがあった時と回答がありました。

【改正後の休館日】

12月29日～翌年1月3日

統一」とし、上限を超えた額は自己負担となる。

○産後ケア事業ショートステイ

【事業内容】

・福井勝山総合病院に宿泊し、休養の機会を提供するとともに、助産師や看護師等が心身のケアや育児サポート等の支援を行う。(1回の出産あたり利用できる日数は、7日間以内)

・利用希望者は市へ連絡し、市は産婦等の状況を確認し、福井勝山総合病院と日程調整等を行う。

母子保健事業の拡充について

新規事業として、妊娠期から子育て期にわたるまでの健康の保持増進と経済的支援を行い、子育て支援の充実を図るものです。

○妊産婦医療費助成制度

【助成対象】

助成対象期間中に受けた医療費のうち自己負担分を助成する。(差額ベッド代、食事代、健康診断料等医療費以外の自己負担及び公費負担金等の医療給付を受けたものは対象外)

○新生児聴覚検査

【事業内容】

妊娠届時に受診票を発行し、新生児聴覚検査の費用の全部または一部を助成する。助成上限額は5600円(県内

建設産業委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案17件について全て可決しました。

令和2年度勝山市下水道事業特別会計予算及び令和2年度勝山市農業集落排水事業特別会計予算について

平成31年1月の総務大臣通知により、人口3万人未満は令和5年度までに公営企業会計に移行しなければならぬこととなっています。そのため、令和2年度から令和4年度まで固定資産の調査整理及び評価を行う作業を実施します。

令和2年度予算では勝山市下水道事業特別会計予算で740万円、勝山市農業集落排水事業特別会計予算では140万円を盛り込んでいます。

委員会では、両特別会計の公営企業への移行に関する行政視察を行い、担当課に適切な対応を行うように求めました。今後も事業の進捗状況を確認していきます。

「地域ESD活動推進拠点」の登録について

2月28日、勝山市が「地域ESD活動推進拠点」として登録されました。地方自治体としては、本市が初めてとなります。地域におけるESD活動の支援窓口として、地方センター(全国8カ所)や他の地域ESD拠点と連携して、ESD活動を支援したり、これからESDを始めようとする活動主体に働きかけることとなります。勝山市は、以前よりエコミュージアム構想によるまちづくりを実践してきたことが、ESDの推進につながり、このことにより選ばれるものと考えます。

※ESD：持続可能な開発のための教育

白山平泉寺観光振興拠点の設置 及び管理に関する条例の一部改 正について

と之蔵及び精進坂前誘客施設の開館時間をこれまでの午前9時から午後3時までを午前10時から午後4時までに改正したいという提案がありました。また、駐車場の使用料については、「3月21日から11月30日までの期間において、午前9時から午後3時の間に使用する場合に納付しなければならぬ」と定めていますが、期間と時間を削除したいという説明を受けました。

委員からは、「時間については規定した方がいいのではないか」という意見がありました。理事者は、これまでは午後3時という規定があったために、それ以降、徴収できないことがあったので時間の規定を削除したい、観光客が通年訪れていること、午後3時以降もバスで訪れることがあるため、

はたや記念館「ゆめおーれ勝山」 の指定管理者の指定について

ミュージアム機能を強化し、民間の知識及び技術等を活かし、サービスの向上を図ることから、「特定非営利活動法人まちづくり勝山」を選定しました。令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間を期間とし、指定管理料は年間3191万5千円です。指定管理業務内容は、展示案内・広報・施設管理など管理運営について一括して指定管理とするものです。なお、博物館としての学芸業務は、市の直営とすると報告を受けました。

委員からは、ミュージアム機能の強化も必要だが、まちなか誘客のためのPRも必要ではないか、子どもたちに勝山の繊維技術を見せて、勝山からチャレンジできるということを知りきっかけを作ってほしいという意見が出ました。理事者は、ジオターミナルや道の駅がオープンすることで状況が変わることが予想されるので、それに対応してゆめおーれ勝山の機能を見直した。勝山には最先端技術を持った企業がある。そのような企業を産業フェアで中学生に知ってもらう機会を設けたり、学年にあわせて勝山の産業を知ってもらう

現状にあわせて改
正したい
という答
弁があり
ました。



と之蔵

にも知ってもらうため、会社紹介誌「いんとろ」を作成して各家庭に配布する取り組みも行っている。などの答弁がありました。

特別委員会報告

誘客拠点整備に関する 特別委員会

■今定例会の審査結果
審査の結果、議案1件について可決しました。

委員会では、現地視察をするともに「工事の進捗状況」「開業に向けた準備状況」を確認し、開業が5月30日になる旨の報告を受けました。

委員からは、

農林水産物の出荷登録を行って荷登録を行って
いる方向けの研修について、春の繁忙期と重なるため、出来るだけ負担の少ない方法で実施するよう、計画の見直しを求める

また、議会内や理事者側との情報共有やペーパーレス化などを目的として、タブレット導入に向けて、デモの実施や先進地の状況などを学習するなど、研究を重ねていきます。さらに、議会の公開性を高めようと、新年度から本会議の傍聴における児童や乳幼児の入場規制を緩和するとともに、委員会の視察や議員研修についての報告書をホームページに掲載します。



道の駅を視察する議員

議会改革特別委員会

当委員会では議会基本条例や災害発生時等の議会の対応要領、同じく議員行動マニュアルを策定しました。

議員定数については、県内や近隣類似市議会の定数や報酬などの状況を調査し研究しました。今後は、関係法令等を十分確認し、識者を招き学習会を開催するとともに、市民等から様々な意見を聴取し、さらに議論を交わしながら、報酬等を含めて総合的に判断することとします。

定例会議案一覧 (令和2年3月)

★ 議員提出議案

■ 表決を行った議案

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第51号	令和2年度 勝山市一般会計予算	予算	可決
議案第52号	令和2年度 勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第53号	令和2年度 勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第54号	令和2年度 勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第55号	令和2年度 勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可決
議案第56号	令和2年度 勝山市下水道事業特別会計予算	建設産業	可決
議案第57号	令和2年度 勝山市農業集落排水事業特別会計予算	建設産業	可決
議案第58号	令和2年度 勝山市水道事業会計予算	建設産業	可決
議案第59号	令和2年度 勝山市市有林造成事業特別会計予算	建設産業	可決
議案第60号	令和元年度 勝山市一般会計補正予算(第4号)	予算	可決
議案第61号	令和元年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可決
議案第62号	令和元年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	可決
議案第63号	令和元年度 勝山市介護保険特別会計補正予算(第4号)	総務文教厚生	可決
議案第64号	令和元年度 勝山市育英資金特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第65号	令和元年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	建設産業	可決
議案第66号	令和元年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第67号	令和元年度 勝山市水道事業会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第68号	令和元年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第69号	勝山市行政組織条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第70号	勝山市特別職報酬等審議会条例等の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第71号	勝山市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第72号	勝山市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第73号	勝山市職員の旅費支給に関する条例等の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第74号	勝山市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第75号	勝山市債権管理条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第76号	勝山市個人番号カードの利用に関する条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第77号	勝山市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第78号	勝山市立児童センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第79号	勝山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第80号	勝山市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第81号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可決
議案第82号	勝山市営住宅管理条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第83号	勝山市定住促進住宅管理条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第84号	白山平泉寺観光振興拠点の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第85号	勝山温泉センター「水芭蕉」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第86号	はたや記念館「ゆめおーれ勝山」の指定管理者の指定について	建設産業	可決
議案第87号	勝山市ジオターミナルの指定管理者の指定について	建設産業	可決
議案第88号	勝山市東山いこいの森の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第89号	損害賠償の額を定めることについて	建設産業	可決
議案第90号	農山漁村振興交付金/周遊・滞在型観光推進事業補助金 勝山市道の駅「恐竜深谷かつやま」新築工事(建築工事) 請負契約の変更について	議決地点整備に関する特別委員会	可決
議案第91号	勝山市公共下水道根幹的施設の改築工事委託に関する協定の変更について	建設産業	可決
議案第92号	勝山市教育委員会教育長の任命について	-	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
議案第93号★	勝山市議会委員会条例の一部改正について	-	可決
議案第94号★	勝山市議会基本条例の制定について	-	可決

請願・陳情

受理番号	要旨	付託委員会	議決結果
陳情第8号	法務局証明書発行請求機の設置に関する陳情書	総務文教厚生	採択

電子表決システムによる記名投票の表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

案件	投票総数	投票数		松本聖司郎	中山光平	安岡孝一	富士根信子	高間清一	久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	乾章俊	山田安信	議決結果
		賛成	反対																	
議案第51号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	可決
議案第52号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	可決
議案第56号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	可決
議案第58号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	可決

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職(通常は採決に加わらない)

かつやまピックアップ

No.3



春待ち茶会



平泉寺保育園では園児の活動の一環として、平成5年から4・5歳児に煎茶道を取り入れています。これは日頃元気に活動している園児達が心穏やかな「静」の時間を経験させると共に、お茶をいただく感謝と、まわりを気遣う思いやりの心を養うために始められました。

毎年3月ごろに5歳児が「春待ち茶会」を開いています。園児がお辞儀をして畳の縁を踏まないように歩き、緊張しながらお茶・お菓子を運ぶおもてなしをしています。その様子

を見て園長先生や諸先生方はもちろんのこと、我が子の成長を感じた保護者の方々に会場がほっこりとした笑顔に包まれます。

(富士根信子 記)

議会日誌

1月23日	福井県市議会議長会議員研修	13日	議会広報特別委員会
24日	全員協議会、誘客拠点整備に関する特別委員会、議会改革特別委員会、議会運営委員会	17日	誘客拠点整備に関する特別委員会、議会改革特別委員会
2月3日	議員研修会、福井県市議会議長会2月定期総会	23日	総務文教厚生委員会、建設産業委員会、誘客拠点整備に関する特別委員会、全員協議会、本会議
5日	三重県志摩市議会行政視察受入	26日	大野・勝山広域事務組合議会
12日	全国高速自動車道市議会議長会定期総会(東京都)	27日	勝山・永平寺衛生管理組合議会、土地開発公社理事会
13日	全国広域連携市議会協議会定期総会(東京都)	30日	福井県後期高齢者医療広域連合議会
18日	全員協議会、議会改革特別委員会	4月6日	全員協議会、勝山市議会災害対策支援本部の設置
19日	勝山市防災会議	7日	議会広報特別委員会
25日	本会議、全員協議会	15日	議会広報特別委員会
3月3日	本会議(代表質問、一般質問)、議会運営委員会	16日	議会改革特別委員会、勝山市議会災害対策支援本部会議、議会運営委員会
4日	本会議(一般質問)、議会広報特別委員会		
5日	予算委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会、本会議		
9日	総務文教厚生委員会、建設産業委員会		
10日	予算委員会(13日まで)		

編集後記

新型コロナウイルスの影響は世界中に広がり、人々の活動を停滞させています。勝山市におきましても、オープン控えている道の駅や恐竜博物館等の観光施設に目を向けると辛くなります。

また気候の変化を考えても、これまでとは状況が変わってきています。このような大きな状況変化に対応するために議会、行政は勝山市の方向性を再検討する必要があります。

(中山光平 記)

議会広報特別委員会：委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治